



ついて

## 1. 体育施設(体育館)の建設検討

### (1) 鹿島区内の体育施設の被災等の状況

#### ①東日本大震災による被災

##### 1) 体育館

- ・牛島体育館(津波被災)
- ・鹿島体育館(震災により取壊し)

##### 2) グラウンド等

- ・牛島パークゴルフ場(津波被災)
- ・南海老グラウンド(津波被災+海岸防災林の区域範囲に入ることにより廃止)
- ・みちのく鹿島球場(津波被災)

#### ②仮設住宅建設地として利用

- ・千倉グラウンド
- ・前川原グラウンド

#### ③学校の体育授業等で利用

- ・千倉体育館

※震災前(平成21～22年度)の鹿島区のスポーツ施設利用状況は別紙のとおり

### (2) 施設整備に対する要望

#### ①復興に関する市民意向調査(平成24年6月実施)より

南相馬市の復興の取組についての設問のうち、「教育環境について重要と思う取組みについて」に対する回答

→屋内運動場の整備や、公園・プールなどの屋外活動の制約を補う施設整備を望む割合が高い。(35%で第1位 1,278人中451人)

#### ②ビジョン策定に当たって行政区から集約した課題の中にも、体育館や屋内運動場の整備についての要望がある。(10行政区)

### (3) 市の取組み状況

- ①みちのく鹿島球場は、今年度予算で原状復帰。
- ②パークゴルフ場については、候補地を選定中。
- ③補助金等を活用した整備を検討中(体育館等)

### ◎協議の方向性

今後の状況や鹿島区の将来像を見据えた上で、体育施設(体育館)が必要かどうか、また、どのようなものが必要か

手4月

(2) 統合に関する意見集約の経過における跡地利用についての意見

- ①真野小学学区区長会〔H24.12.4〕
  - ・跡地利用を早期に講じてほしい。
- ②鹿島区区長会（全行政区）〔H24.12.25〕
  - ・当面、体育館と校庭の利用策を早急に決めてほしい。
- ③地域懇談会（保護者、区長、民生委員、児童委員）〔H25.2.14〕
  - ・建物の利用に当たっては、耐震には多くの予算が必要であるため、耐震をしないで済む有効な利用法を検討してほしい。

(3) 施設等面積

- ①校地面積 14,755㎡（市有地）
- ②校舎等 1,874㎡
- ③体育館 1,091㎡

◎協議の方向性

跡地利用に関しては、PTAや地元行政区などの意見を交えながら検討する。

### 3. 南相馬消防署鹿島分署の移転候補地

(1) これまでの経過について

鹿島分署は、昭和42年度建設で築40年以上が経過し、消防力の整備推進に加え、事務量の増大とともに狭あいとなり、さらに耐震構造となっていないため、防災拠点としての機能を果たすことができないおそれがあることから、合併以前から鹿島分署庁舎建設の構想があった。

合併後の計画では、鹿島分署建設事業の事業着手は平成22年度以降の予定となっていた。

〔参考〕平成21～22年度に小高分署を建設

- ・鉄筋コンクリート造1階建て 床面積564㎡
- ・建設費 約2億5000万円(解体工事費含まず)
- ・改築前の小高分署は昭和46年度建設

(2) 建設に関する現在の状況について

- ①震災後、鹿島分署の建設について現状では具体的な計画には至っていない。
- ②南相馬消防署・防災センターが現在建設中であり(平成25・26年度)、鹿島分署の建設は、その後になる見通し

◎協議の方向性

鹿島分署と施設の規模や必要な機能等について協議し、それに見合った場所を検討する。



**PDF Complete**

Your complimentary use period has ended.  
Thank you for using PDF Complete.

[Click Here to upgrade to Unlimited Pages and Expanded Features](#)

(第2回地域協議会資料 H25.5.17)

- (1) 発行ペース  
(例) 四半期ごとに発行
- (2) 配布範囲  
(例) 隣組回覧(346枚)
- (3) 編集について  
地域協議会委員の中から編集委員を出して原稿を作成
- (4) 印刷について  
外部委託ではなく、自前(区役所の印刷機)で印刷